

■ 申請する実務を行った会社が倒産している場合は、以下の3点をご確認ください。

- 以下の記入例を参考に必要事項をご記入ください。
- 実務経歴書と併せて、当該会社に属していたことを証する書類（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）を提出してください。
- 実務経歴証明書の下余白に会社が倒産したことを記してください。また、当該会社に属していたことを証する書類として提出する書類名を記入して下さい。（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）

実務経歴証明書 記入例

実務経歴証明書記入例（会社が倒産した場合）

別記様式第1号の3
（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

証明者
住所・所在地
電話番号
免許申請者との関係

株式会社〇〇建築設計事務所
〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験
建築実務経験期間の合計： **2 年 0 月**
建築実務の内容：
・事務所ビル（鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡）の基本設計の補助を担当。
・小学校（木造3階建て、延べ面積3,000㎡）の基本設計・実施設計の補助を担当。
・病院（鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡）の設計と条件の整理を担当。

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。
当該会社に属していたことを証する書類として、●●を提出します。

備 考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

申請日を記入

「証明者」は記入不要

「免許申請者との関係」は記入不要

空白部分に、実務を行った会社の名称、所在地、電話番号※を記入
※所在地・電話番号が不明の場合は、無記入でも構いません

【記入例】

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇〇年〇月に倒産した。
当該会社に属していたことを証する書類として、●●を提出します。

※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要